

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 8月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470206115		
法人名	株式会社ヤシロ		
事業所名	グループホーム ふじの里		
所在地	広島市佐伯区藤の木二丁目27-5 (電話) 082-927-3052		
自己評価作成日	令和元年7月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470206115-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年8月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

今までは、自宅で最期を迎える人が多くいましたが、現在では医療機関でほとんどの方が亡くなっています。当施設では、住み慣れた環境の中で看取りを何度も行ってきました。最期を迎える人に精神的、身体的苦痛を軽減し、一人ひとりが自分らしい最期を迎えることができたのではないかと考えています。早い段階から、看取りケア・介護についても話し合い、ご家族の要望を汲み取りながら、サポートしてきました。今後も、具体的な計画を立て、ご本人の希望通りの最期が迎えらるよう職員一同、理解を深めていきます。医療・看護・介護が連携して、施設での最期を満足していただけるよう取り組んでいきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

静かなベッタウンのバス道路に、周囲の環境にとけ込んだ2階建ての、外見は民家風で中は法人代表の建築の知見を活かし、機能的に建てられた同事業所は、設立当初からの弛まない努力で、地域との信頼関係が日常的な交流や防災時の協力体制等しっかり構築されている。また日常的な支援に於いては、経験豊かな管理者や職員を始め、看護師（正看護師1名・准看護師4名）が24時間体制で、利用者が安心した家庭生活が送れ、終の棲家として過ごして貰える様取り組んでいる。平素の業務に於いても、タブレットを導入し、全職員が業務の可視化によって、瞬時の情報が共有出来、管理者は職員の動きが把握し易く、更にはペーパーレスに繋がり、良い結果が生まれている。今後もこの支援のシステムを上手く利用し、働き易く利用者により良いサービスが提供出来るための取り組みが感じられる。

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎週月曜日、申し送り終了後、管理者、職員と共に、経営理念を唱和し、実践につなげるように努めている。	法人理念の「利用者の基本的人権の保護・安心した家庭生活の支援・生きがいある生活の支援」を職員は継続する事で、サービスの意義を共有し実践に繋げる取り組みがある。理念の意味合いを、管理者と職員は共に理解できるように、外部研修や内部研修も行う等、理念の解釈を実践に繋げるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の交流(女性会、民生委員)など、積極的に声を掛けていただき、行事にはできるかぎり参加している。また、公民館での行事も参加し交流している。	町内会に加入しており、積極的に地域と繋がる努力がある。地域のお祭りやイベントには行事の大小に関わらず参加している。近隣の小学2年生30名(各5名ずつ)が事業所を訪れ、利用者と触れ合ったり、防災訓練を共に行う等、積極的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方には、2カ月に1回の運営推進会議などで、認知症の人の特性など理解を求め、地域包括センターの職員からも事例を出していただき、活かしている。徘徊ネットワークからの情報もFAXでいただき、共有している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、施設内での出来事、サービスの提供などを会議で報告し、意見をいただき、サービス向上へ向けて活かしている。また、地域での行事の案内を発信していただき、できるかぎり参加している。	会議は定期的に行われ、出席者は本人・家族を中心に地域住民や異業種の参加がある。会議内容はヒヤリハットや行事報告今後の予定を始め、話し合いを行い事業所は更なるサービスの向上を目指す取り組みがある。また地域との繋がりが方や考え方も職員は話し合いを行っている。	会議の内容を、事業所の強みであるタブレットを利用し、会議録の書き方を統一し、誰が閲覧しても分かり易くする工夫が必要と感じられる。また欠席した家族には議事録を送付する等の取組みに期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市役所、区役所の担当者と、施設内での不安なこと、疑問に思うことなどは、積極的に聞き、ケアサービス向上に役立っている。また、不明な点は直接訪問し解決するようにしている。	市町とは平素より情報を共有しながら繋がる取り組みがある。例えば徘徊ネットワークに於いて、他地域の住民を団地内で見つける等、協力関係を築いている。また事業所は数人の認知症アドバイザーがおり、人材は確保され依頼があれば協力出来る体制は整っている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、定期的 に開催し意見交換している。グレー ゾーンと言われている部分が議題に上 がることが多く、解決に向けて協議を 重ねている。玄関の施錠は、施設の外 が車の往来がある道路があるため、施 錠をしているが、定期的に解錠して気 分転換を図っている。</p>	<p>3ヶ月に1度開催している委員会で、 身体拘束とは何か、その影響を職員は 理解しながら、支援の有り方（成果で はなく、取り組みや過程）を職員は共 有し取り組んでいる。研修では拘束の 3要件を含め、グレーゾーンにも意 識しながら、日々の活かした支援に努 めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法 等について学ぶ機会を持ち、利用者 の自宅や事業所内での虐待が見過ご されることがないように注意を払い、 防止に努めている。</p>	<p>身体拘束と同様に虐待防止についても 定期的にミーティングで話し合い、各 職員が気づいた時点で指摘し合い、そ の場で注意し、虐待防止に努めてい る。本人には、認識がなくても周囲が 意見を言える環境に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援 事業や成年後見制度について学ぶ機 会を持ち、個々の必要性を関係者と 話し合い、それらを活用できるよう 支援している。</p>	<p>成年後見人制度について、現在利用さ れている利用者様がいるため、個々の 必要性や理解を深めて、活用できるよ うに努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際 は、利用者や家族等の不安や疑問点 を尋ね、十分な説明を行い理解・納 得を図っている。</p>	<p>契約の前には、重要事項説明を十分な 説明を行い、ご家族に不安や疑問を残 さない様に納得されるまで説明を行っ ている。また、説明には、ゆっくりと 時間をかけ丁寧に行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反 映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理 者や職員並びに外部者へ表せる機会 を設け、それらを運営に反映させて いる。</p>	<p>利用者の要望は、日頃のコミュニケー ションから聞き出し反映できるように している。同時に、ご家族が来訪され た際には、要望・意見を聞き取り、社 内で反映できるようにしている。外部 へは、現在のところ運営推進会議での 発表になっている。</p>	<p>家族から来所時等にいろいろな方法 で、意見を求める機会は設けている が、運営に関する要望はない。事業所 は運営推進会議を利用したり、担当者 から定期的に身近な出来事を知らせる 努力はされており、事業所は家族の意 見を反映する努力がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的なミーティングや朝の申し送りなどで意見を出してもらい、協議できるような環境を整えている。ミーティングには、代表、管理者も含め参加し、職員の要望、意見などを聞いて対応している。また、問題点など発生した場合、即対応できるように心掛けている。	運営に関する職員の意見や提案を聞く機会には、様々な形で取り組まれている。業務改善においても、働き方改革の一環でもある実質労働時間（有給休暇）の見直しを行ったり、利用者に関しても、個々に見合ったベットの位置を変える等、意見の反映に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員のスキルや経験、年数、資格を考慮し、給与の査定を行っている。また、外部の研修など自分自身のレベルアップにつなげられるように、自己啓発の整備に努めている。また、有給休暇の取得は、パートの方にも積極的に促している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修の案内があれば、掲示板に張り出し、呼掛けをし、レベルアップができるように積極的に参加を促している。同時に、研修報告をしてもらい参加できなかった職員でも内容が共有できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者が交流する案内を発信し、できる限り参加できるようにし、参加できれば、情報交換によって得られたサービス内容を施設で活かせるように取り組んでいる。		
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様の意見やご家族のご意見などの話の中で、不安なことを読み取り、少しでも解消できるように努めている。また、安心できる環境を確保し、よりよい関係が維持できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居する前に、ご家族に不安な事や困っている事を聞き出し、今までの生活環境など、出来る限りそれに対応できるような関係づくりに努めている。また、趣味などを聞き出し、安心できる生活を送れるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族に今までの暮らしぶりや必要な支援などを聞き出し、他のサービスにつなげられるよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	その人らしい暮らし、生活を重視し、家庭的な生活が送れるように、安心できるように環境を整えている。また、本人の意見を尊重し、職員都合にならないよう支援に取り組んでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人と家族の関係を保ちながら、家族の意見を重点に置き、施設側の考えに偏らないように配慮している。また、ご家族にも意見が言える環境を整え、反映できるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人宅や墓参りなど、大切にされてきた場所などは、積極的に出向いていただくようにしている。また、それによって、利用者様の表情などが穏やかになることを望んでいる。出来る限り続けていけるよう努めている。	利用者の中には、家族の希望で他県の温泉に一泊旅行に出掛けたり、盆や正月には自宅へ2～3泊して楽しんだりしている。日常的には近くに福祉従事者等が利用する喫茶店に出掛けたり、通い慣れた理容室に行く利用者やコンビニ、スーパーで買い物に行く等、馴染みの関係を大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の個性、性格を把握し、話しが合う人、気が合う人、席の配置なども考慮し、心地いい関係が築けるように努めている。また、一人の時間も大事にされている方もおられるので、尊重できるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了した利用者、ご家族には、連絡があれば適宜対応しているが、施設側から積極的に対応はしていない。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族から興味のあることや趣味などを聞き出し、その人らしい暮らしを目指している。今までの生活に沿った環境を重視できるように努めている。調理の手伝いや施設内の作業、草取りなど、積極的に声掛けをし、快く応じていただいている。	出来る限り思いや暮らし方が実現出来る様取り組んでいる。利用者からの希望で「お寿司を食べたい」や「お好み焼きを作りたい」等生活の中での希望を把握し、実践に繋げている。困難な場合、職員は家族から話を聞き、検討を重ね希望に応えられるよう支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族からこれまでの生活歴を聞き出し、サービス利用に向けて参考になっている。馴染みの物置、絵、写真など居室に飾り、環境整備に心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりが、一日の生活スタイルが違っているため、本人のペースに合わせて暮らしていけるように努めている。また、日々の出来事は記録に残し、全職員が共有できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人、家族、職員が、より良い暮らしができるように、意見交換し話し合いの場を設けて現状に沿った介護計画を作っている。また、見直しが必要な場合は、適宜対応し変更もしている。	モニタリングやサービス担当者会議は年2回、本人、家族の意見を核に、必要な関係者が現状に即した計画を作成している。又、カンファレンスを行い、状態の変化がある場合は、評価、見直しを行い介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の様子は、タブレット端末で管理されており、すべての職員で情報を共有することができ、介護計画の見直しに役立っている。多数の意見が出るように介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	突発的に生じた病気、怪我などに対応するため、医師、看護師などと連携し、職員もしくはご家族同行で、病院への受診を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ご家族の元へ帰っていただき、気持ちの安定を図ったり、藤の木の地域の方に来訪してもらい、楽しんでいただいている。小学校2年生が30名ほど社会科見学として交流に来られた。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的に往診に来てもらい、医師から適切なアドバイスを頂いている。24時間対応して頂いているので、急変時も医師、看護師などから指示を頂いている。看護師、准看護師を配置し、体調不良、怪我などに対応できるような体制を整えている。	利用者の殆どが、協力医療機関をかかりつけ医とし24時間体制で支援されている。受診は定期的に行われ、協力歯科医も口腔ケアを含め定期的に受診している。事業所は専従の看護師5名と、職員が協働しながら支援している。また緊急時を含め他科への受診も連携している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員は、かかりつけ医と密に連絡が取れる状態にあり、急変時や問題点などを相談し、適切な医療、受診ができるようにしている。また、看護申し送りによって、全職員が情報を共有できるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時情報提供やカンファレンスなどに参加し、施設側の状況を具体的に伝達している。また、病院側の看護師、相談員と常に連絡、情報が取れるように体制を整えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合の指針や看取りの指針を、入居前の段階で説明し、理解してもらっている。看取りの段階に入った利用者には、医師、看護師、職員、ご家族で話し合い、今後の治療方針など説明し、納得してもらい実践している。	入所前に、重度化した場合に関する指針を説明している。職員は看取り介護の経験を重ねながら、家族に寄り添い支援している。ターミナル化した場合、職員は改めて家族の意向に添えるよう話し合いを重ね、共有した支援体制を整え、チームで取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変の場合は、即、担当医に相談し、指示を仰いでいる。また、事故等でよくある転倒、骨折などは、マニュアル化し、初期対応を統一している。応急手当が必要な場合は、看護職員に連絡し、対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災訓練や防災訓練など、職員だけではなく、利用者も参加し体験して頂いている。今回は、地震体験、火災による煙からの退避、消火器の使用方法など小学校で実施した。地域との協力はまだ不足している部分はある。	年2回の火災訓練は基より、地域が年1回小学校で防災訓練を行う際には、利用者と共に参加している。事業所は太陽光発電と蓄電池を備えている。備蓄も平素からローリングストックしながら有事の時には、一次避難場所として提供する用意が有り、地域との協力関係を築く取り組みがある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人の人間として、人生の先輩であることを忘れないように心掛けている。それによって、声掛け、言葉、行動が、人格を尊重することになることを意識し対応している。また、プライバシーの確保、居室へ勝手に入らない、声掛けを必ずすることで意識しながら行っている。	利用者一人ひとりの生活歴を把握し、職員は情報を共有し、不用意な言葉がけに注意し、例えば利用者への呼び方も基本は「〇〇さん」と、心掛けながら対応している。研修は接遇、権利関係等、事例を基にしっかり意識付けを行い、支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人がやりたいことや思いを聞き取り、要望に答えている。例えば、買い物や買いたいもの、外出、趣味に必要なものなど、可能な限り希望に応じている。職員側も傾聴に心掛けるようにし、耳を傾けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとり、生活のペースが違うので、介護度、レベル、特徴を把握し、一日を楽しく過ごすために、職員も観察を充分にし、希望に沿えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に応じて、洋服の入れ替えや清潔感があるように心掛けている。また、起床時には整髪、訪問美容時には、女性には化粧などしてもらい、鏡で自分の姿を見てもらって喜んでいただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備は、できる利用者には野菜を切ったり、盛り付けをやってもらっている。また、片づけ、食器洗いなども職員付き添いで行っている。また、咀嚼力など個人に差があるので、食事形態も変えて提供している。誕生日会、ひな祭、クリスマスなど特別な日には、お寿司をしたり、たこ焼きを焼いたり、楽しんでいる。	毎日の食事は、食材専門業者のメニューに添って、利用者と共に準備している。利用者の殆どは、上手に”はし”を使い美味しく食事をしている。食事環境も利用者の配置を検討しテーブルを決める工夫がある。またドライブでサービスエリアに食事に行ったり、直ぐ側の公園でお弁当を食べる等、楽しい食事時間を工夫している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食材は栄養士によって管理されており、毎日偏らないように工夫している。また、一日の食分量、水分量など記録に残し、全職員が共有できるようにしている。嚥下の弱い方には、職員が側において十分に注意を払っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは、毎食後行い、介助が必要な方には、職員が付き添いで行っている。自力でケアできる利用者ほど、口腔内の確認ができていないのが現状である。歯科医からの指導のもと、注意点を聞き出し、実践している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>車椅子の方もトイレに座り、日中はオムツは外して対応している。排泄のパターンは管理表で把握できるため、個々の自立を促している。仮に失敗した場合でも、個々の対応を考えスムーズな更衣ができるように心掛けている。</p>	<p>職員は平素より利用者の排泄パターンを記録に取り、誘導の機会を把握しその結果、利用者自身で排泄出来る様になった事例も有る。更にファンレストテーブル等利用し、その人の残存能力を少し引き出し、排泄の自立に向けて話し合い、工夫を重ね情報を共有し支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便は、排泄表で管理されているので、長い間、便秘状態の方には、オリーブオイルや便秘薬などで対応している。3日以上排便がない状態にならないように取り組んでいる。また、看護師などと協議し、最適な食事、水分、運動を実践できるように心掛けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者は一週間に2回から3回ほど入浴を行っているが、入浴の拒否が強い方には、時間を変更したり、職員を変えたりして対応している。入浴をすることによってのメリットを伝えながら、強制的にならないように心掛けている。</p>	<p>入浴は出来るだけ利用者の希望に合わせて、快適な入浴を心掛けている。入浴環境に於いても、皮膚の弱い利用者や医師の指示で、その人に合った入浴方法を行っている。また近場の温泉施設に出掛け、入浴や足湯を楽しんで貰う等、職員は出来る限りの支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一日を自由に過ごしてもらうた め、休息する時間は、本人に任 せ、居室で休まれる場合は、エ アコンで温度調整をしており、 快適に眠れるようにしている。 リビングには、ソファを配置し 自由にくつろいでもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている。	服薬については、医師、薬剤師 の説明を受け、目的、用量、使 用方法などを職員で共有してい る。薬の内容については、職員が 確認取れる場所に管理している。 また、誤薬ないように2名体制 でチェックしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	自分の趣味、絵を描いたり、編 み物をしたり、一人ひとりの特 性を把握し、喜びのある生活 を心がけている。楽しみを見つ け出すことも視野に入れ、新し いことにも積極的に取り組んで もらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。	買い物に行ったり、墓参り、ま た、遠出をする場合は、家族に 了承を得て温泉などにも出向い ている。また、近隣には公園が 多くあり、車椅子の方でも食 事を機会を設けている。また、 ご家族と外食される方もいて、 協力をいただいている。	日常的には散歩に出掛け、車 イス利用者と共に、近隣の社 会資源の一つである、公民館 の様々な催し物(展示物の見 学・音楽の演奏を聞く)を楽し みに出掛けている。また夏まつ りや外食に家族と共に出掛け 、職員は日常的な外出支援を 心掛けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	当施設では、お金を所持してい る方はいない。トラブルを避け るため、ご家族に了承を得てい る。欲しいものがあれば、一緒 に買い物に行ったり、後日、 請求をすることで対応してい る。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人の要望があれば、電話をしたり、家族に手紙を出したりしていただいている。また、ご家族から手紙の返事等も届いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>玄関、入り口前には、季節の花を飾ったり、一緒に植えたりしている。また、季節感を出すために廊下に絵を飾ったり、貼り絵をしたり、四季を感じる事ができるように工夫している。</p>	<p>利用者が集うリビングは、手作りされた作品が程よく飾られている。広めの廊下には、「希望に生きるものは常に若い・笑顔は心のこもったことばです」等、美しい習字が目にとまる。また職員は利用者が歩く動線にも、危険が生じないよう気配りしながら支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人の時間も大切に、自由に過ごしてもらっている。また、リビングでも気の合った利用者同士、席の配置を考え、心地いい場所を提供している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者の馴染みの絵、ご家族の写真、施設内での写真などを居室に貼ったり、ぬいぐるみなどを置き心穏やかな状態で過ごしてもらっている。野球好きの方には、カーブの選手の写真も同様に貼っている。</p>	<p>居室の入り口は、家族に了承を得て表札が掛けてある。部屋は其々の家族の写真や、手工作品が飾られており、特徴ある自分らしい暮らしがある。ベッドやクローゼット、エアコンは備え付けで、馴染みのドレッサーや小さ目のチェスト等持ち込み、居心地良い部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの居室には、大きな字で名前を書いて迷わないようにしている。日にち、曜日の管理ができる利用者は、カレンダーを見える場所におき、確認してもらっている。また、安全に過ごしてもらうため、危険なものは取り除いている。</p>		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「ふじの里」の経営理念を毎週月曜日に、申し送り終了後、管理職と職員で唱和し実践につなげるように心がけている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	公民館での行事、地域の夏祭り、小学校での防災訓練など地域の一員として交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前、地域の認知症徘徊者の方を当施設に連れて来られたこともあり、運営推進会議にて地域の方はいつでもどうぞと声を掛け、気軽に相談できる状況が出来ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	女性会、消防、警察、地域包括センターなど異業種の方々から意見をいただき、サービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	困難事例等があれば電話等で相談・連絡を取って協力していただいている。また、地域の徘徊者などの情報を共有し、手助けできるように報告、連絡はしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をせずに日々業務をおこなっている。夜間帯においては玄関の施錠はおこなっている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止等の研修・勉強会に参加し、知識を高め、現場での実践に役立てている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見人制度を利用されている方がおられ活用している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、ご家族と十分に話し合い、不安なこと、不明な点がないように納得できる説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関にBOXを設置したり、アンケートを取らせていただいたり要望等を受け入れるように努めている。また、カンファレンスを行い、ご利用者の要望、意見を吸い上げ、運営に活かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングや昼休憩等で職員と話し意見を聞いている。また、随時意見や提案をもらい反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>能力に応じた査定を行い、レベルアップできるよう指導し、一人ひとりにやりがいを持てるよう、有給利用や退社の遵守など勧めている。同時に職員間で協力できるような体制をとっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>無資格の方でも働けるように、時間をかけてマンツーマンでの指導時間を多くとり、業務に慣れるまで、一人で業務にあたることなく新人育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修会・交流会に参加することで同業者と交流する機会があり、その時の意見交換等を日頃の業務の参考にしている。</p>		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接を行い、その情報を職員で共有するように努め円滑に人間関係が構築できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面接・契約時に時間を取り、話を伺う中で関係づくりが出来るように心掛けて、入居前にご本人及びご家族から困っていること、不安要素を詳細に聞き、できる限り要望に応えられるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人またはご家族から、支援内容を聞き取り、必要としているサービスを提供し、ケアプランを作成している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人様のできる事などは積極的に行っていただき難しい点などは一緒に行っていただいている。また、普段から手仕事等を協力していただくように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様の昔の様子などの情報をいただく中で、家族様のアドバイスを取り入れ、日々の生活に取り入れていくように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	個別に地域の喫茶店・買い物に出かけたり、散歩・ドライブなど暮らした地域に足を運んだりしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	座る位置等を考え利用者同志で会話がしやすい環境に配慮している。また、状況に応じ職員が間に入り孤立しない様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現在は行っていない。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所後、本人の様子を観察し、対話・入所前の生活習慣・生活履歴から職員でミーティングの中で、本人の意向・希望に添える様に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前に事前面接を行い本人・家族から話を伺い。また、これまでにサービスを利用している場合は担当ケアマネ・相談員からも情報も得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	各職員で様子・状態観察した事をミーティングで話しあい本人様のできる事・状態等を把握する様努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ミーティングにて個々のケアについて話し合い、介護計画を作成し、統一したケアに努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>iPadにて日々の変化の気づきやかあの継続結果、また改善点など記録してスタッフ館で情報収集を行い、日々のケアに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>多職種の方と相談しながら、その人に合ったニーズに対応しサービス等を取り組んでいきたい。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者全員とはいかないがその日の体調変化がなければ公民館での催しもの、町内行事には支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医療機関は随時医療が受けられるように月に2回の往診と、体調の変化があれば報告して、随時対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員とは日々、連携をとりあい介護職員に助言や指導を受け、利用者の方が受診を受けられよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報提供の書類を普段から作っており、すぐ入院等に対応できるようにしている。利用者の現状及び問題等の情報提供を病院に伝えて病院との連携を図っている。また退院時には事前面接を行い、状況の把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族・担当医との連携をはかり、必要時には担当医との話し合いの場を作り、今後について医師からの説明と、家族の希望などを聞き取り、希望に添った支援を取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時・事故時の対応方法はミーティング等の中で話し合うことで定期的に行っているが、各職員が実践力があるとは言えない現状はある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の防災訓練への参加や消防署の訓練等を行い、緊急時に備えている。利用者全員が避難できるよう全職員と訓練が出来れば望ましい。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとり人格も違い、不快な思いをしないように言葉かけをして対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	話を傾聴することによって思いを知ることが出来るので、自己決定できるように支援していきたい。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人の日々の生活パターンが違うので、出来るだけ本人の生活パターンに合わせた支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に応じた服を選び、紙の手入れ、手足の爪切り、耳掃除、髭剃りなど身だしなみに気を付けて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	見りつけ裁片付け等の利用者様が出来る範囲内のことを一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士の監修のもと、毎日、バランスの取れた食材が提供されている。また、一日の食事量、水分量は管理表にてチェックしており、摂取量がわかるようにしている。また、飲み込みや咀嚼等の観察を行い、誤嚥のないよう心がけている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアは、毎食後行い、介助が必要な方は職員がサポートしているが、自立の方ほど、舌苔のチェックが行き届いていない場合もある。足りない部分は定期的な歯科往診があり、指導も仰いでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>自立の方はトイレにて排泄を行っており、個々のタイミングで不安がないように時間を調整しながら誘導を行っている。おむつ対応の方は、排泄のパターンを把握し、できるだけ使用頻度を少なくするよう心がけている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の有無は毎日管理されており、個々の状態に応じて適切にコントロールされている。便秘の状態が続くようであれば、看護師、医師と相談の上、下剤などで調整を行っている。下剤に頼っている現状がある。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>職員が少ない為、時間・曜日などはなかなか希望通りに出来ていないが、一人ひとりの希望に添えるように可能な限り行っている。入浴が苦手な方に対しても、無理を押し付けるのではなく、声かけの工夫をし対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>利用者様の状態もあり、時間帯・倦怠感・その時に出来るだけ合わせて、休んでいただいている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の処方に関しては、医師、薬剤師の説明を受け、使用方法など職員で共有している。薬の理解が十分でない場合でも、説明ファイルがすぐ見えるところに設置している。また、誤薬のないよう二名で確認をし、服薬していただいている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>職員が少なく出来ていない現状がある。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>職員が少なく出来ていない現状がある。時々、ドライブ・買い物・公民館・散歩などに出ている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>現在、お金を所持している方はおられないが、必要とあらば、一緒に買い物に行き、職員管理のもとで支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人の希望があれば、電話をしたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>快適に過ごしてもらうため、室温などは気を付けている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>本人の行動を制限するのではなく、快適に過ごしていただけるように支援していきたい。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>大切なご家族との思い出の写真や、誕生会カード、敬老会のカード、ぬいぐるみなど、居心地のいい環境で過ごせるよう努めている。家族との相談があまりできていない部分もある。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ・浴室、カレンダーなど、日常生活に必要なものは、大きな文字で迷わないようにしている。また、危険なもの、怪我を起さそうなものは排除している。転倒防止のため、手すりを設置し、職員が見守っている。出来る範囲内のことなどは手伝いをしてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふじの里

作成日 令和元年9月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の活かし方の工夫不足	議事録の書き方を統一し、欠席者にも共有できるようにする。	タブレット端末を活用し、全職員で情報共有すること、またご家族にも情報を提供していくこと。	1年
2	6	身体拘束をしないためのケアの意識	身体拘束のグレーゾーンの判断基準の明確化にする。	日勤者、夜勤者とも問題点が出てくれば、その都度対応、協議をしていく。	1年
3	1	理念の共有が一部できていない	全職員が統一した認識を持つこと。	理念の意味合い、解釈を理解し、ミーティング等で話し合いサービス向上につなげていく。	1年
4	30	かかりつけ医の受診診断について	往診の病院、薬局が3か所あるため、全職員が薬の内容を把握。	利用者ごとに薬のファイルを作成し、いつでも閲覧可能な状態にする、また副作用などの知識も共有すること。	1年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。